



SILENT BOMBER AF 取扱説明書

商品番号 : 04 02 2741

適応車種及びフレーム番号

アドレスV125:CF4EA 100047~(UZ125GK9/ZK9)

△CF46A 100000~(UZ125K5~K7)は取り付け出来ませんのでご注意ください。

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- ・このマフラーは、キャタライザーを内蔵し、平成19年排ガス規制にも対応しておりますので、一般公道で安心してご使用頂けます。オリジナルマフラーとは異なったサウンドをお楽しみ下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

この製品の取り付けには上記適応車種にあったスズキ純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行って下さい。

取り付けの際には適切な工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。

ボルト、パッキン類は一部再使用しますが、摩耗や損傷の激しい物は再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

ノーマル車両の場合、当製品の性能を発揮させる為に必ず付属のウエイトローラーに交換して下さい。

エキゾーストパイプに取り付けてあるブラインドプラグは、別売りのAFメーター:07 04 0032を取り付け時以外は取り外さず使用して下さい。ブラインドプラグを取り外した状態でエンジンを始動させたり走行すると、道路運送車両法違反になり、使用者が罰せられます。

又、エンジントラブルの原因にもなりますので、ブラインドプラグを外した状態のまま使用することはおやめ下さい。



注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ボルト・パッキン類で再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。



警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

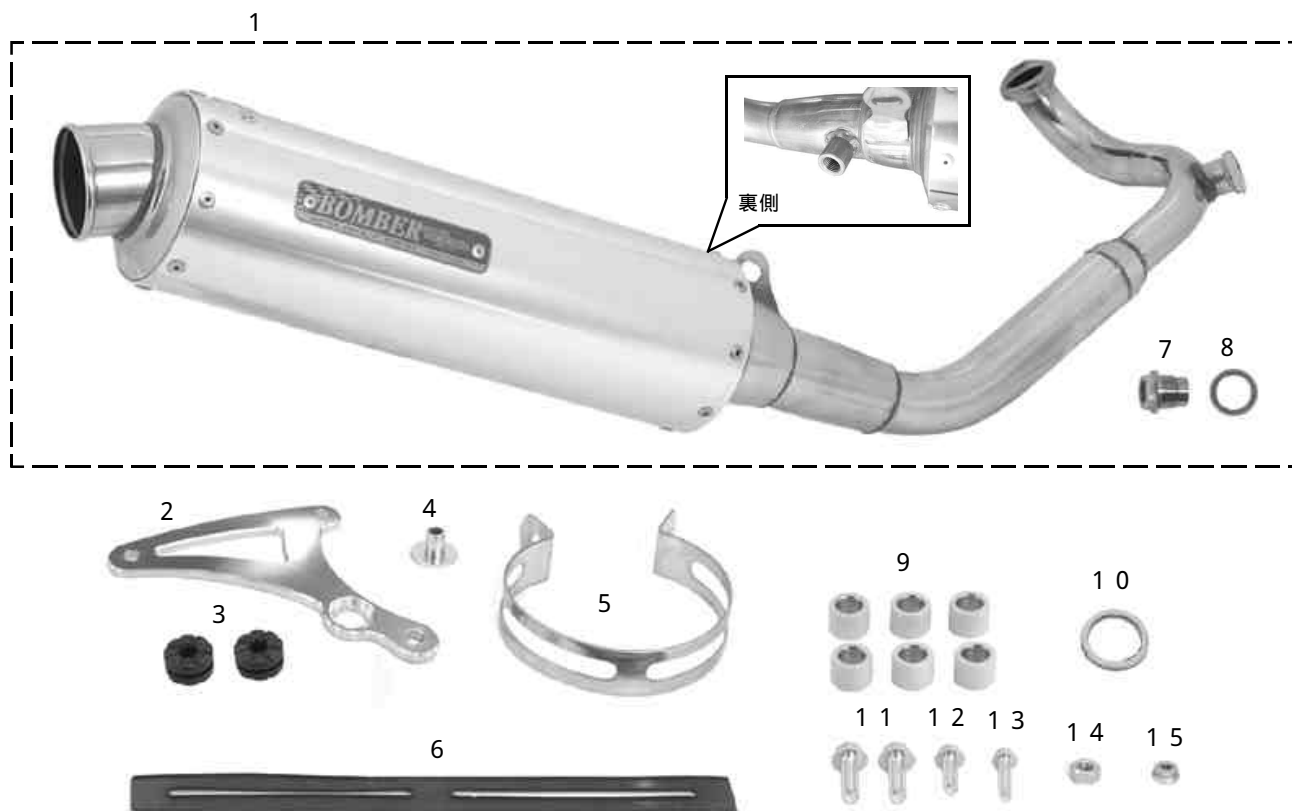
- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。
(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

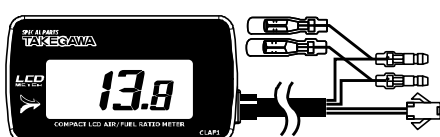
~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	マフラーCOMP.	1		
2	ステー	1	9 1 1 2 2 3 3 G T 1 0	1
3	ラバー	2	0 0 0 0 0 0 9 9	4
4	カラー	1	0 0 0 0 0 2 1 7	4
5	クランプバンド	1	0 0 0 4 0 0 0 5	1
6	バンドラバー	1		1
7	ブラインドプラグ	1	0 7 0 4 0 0 2 3	1
8	シーリングワッシャ M18	1		1
9	ウェイトローラー 15g	6	0 2 0 0 0 0 0 4	3
10	エキゾーストガasket	1	0 0 0 1 0 0 6 3	2
11	フランジボルト M10×25	2	0 0 0 0 0 2 1 8	2
12	フランジボルト M8×20	1	0 0 0 0 0 2 1 1	4
13	フランジボルト M6×25	1	0 0 0 0 0 1 1 5	5
14	フランジナット M8	1	0 0 0 0 0 2 7 5	6
15	フランジナット M6	1	0 0 0 0 0 1 7 3	6
	JMCAカード	1		

リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。3は1ヶ、スペアが付属しております。

コンパクトLCD A/Fメーター (別売)



特徴

エキゾーストパイプに取り付けたセンサーにより、リアルタイム空燃比をデジタル数字で表示します。
燃調セッティングの目安として補助的に使用して頂けます。
リアルタイムで空燃比の変化を数値で確認する事が出来、希薄燃焼の早期発見に役立ちます。

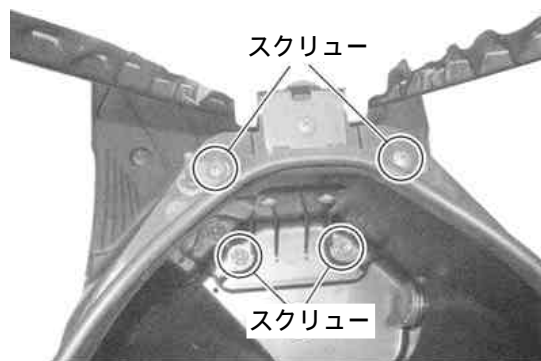
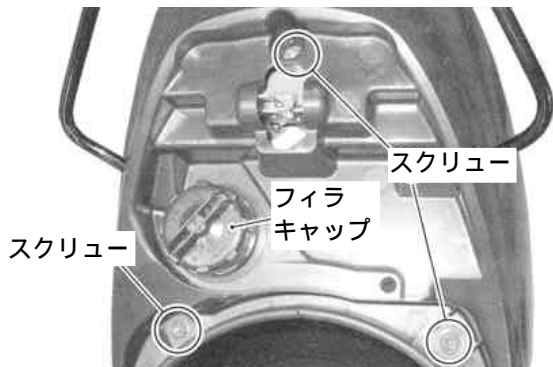
0 7 0 4 0 0 3 2

～ 取 り 付 け 要 領 ～

～ マフラーの交換 ～

O₂センサーの取り外し

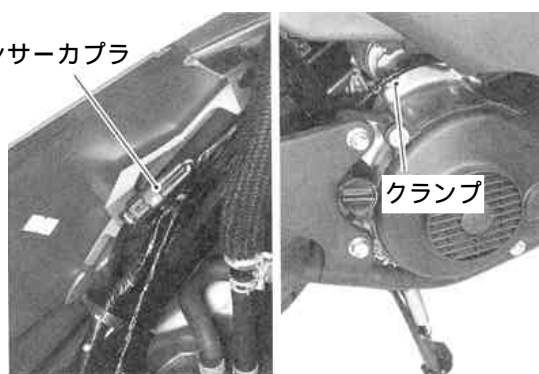
1. フィラ キャップ及びスクリューを外し、トランクボックスを上側に外します。



2. O₂センサーカブラを外し、クランプよりO₂センサーリードワイヤーを外します。

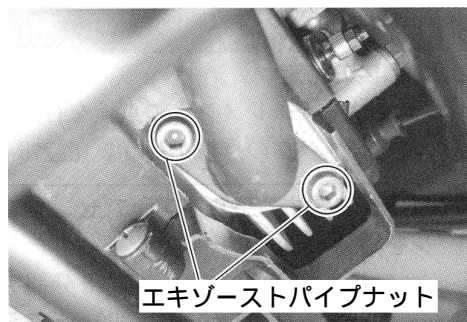
△注意：O₂センサーに強い衝撃を与えないように注意する事。
O₂センサーの取り外し、又は取り付けの際、O₂センサーを強くねじらないように注意する事。
センサーリードワイヤーのねじれや損傷に気を付ける事。

O₂センサーカブラ



純正マフラーの取り外し

1. シリンダーとエキゾーストジョイントを締結しているエキゾーストパイプナット2個を取り外します。



2. マフラーをエンジンに固定しているマフラークランプボルト2本を取り外し、純正マフラーを取り外します。
3. EXポート部に入っている古いエキゾーストガスケットを外します。



4. 純正マフラーからO₂センサーを外します。

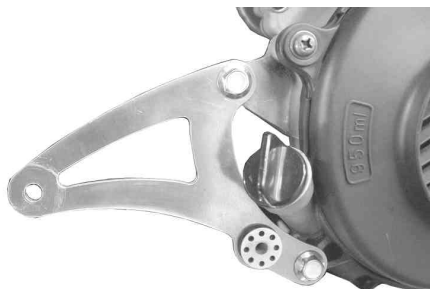


ステアリングの取り付け

1. ステアリングにクッションラバーを取り付け、クッションラバーにカラーを取り付けます。



2. フランジボルトM10×25で、ステアリングを仮付けしておきます。



ボンバーマフラーの取り付け

1. ボンバーマフラーにO₂センサーを取り付けます。
トルク：25 N・m (2.5 kgf・m)
2. キット内のエキゾーストガスケットをEXポート部に差し込み取り付けます。
3. エキゾーストパイプフランジをシリンダヘッドのスタッドボルトに正しく合わせ、エキゾーストパイプナットを用いて仮締めします。
4. サイレンサーバンドにバンドラバーを巻き付け、マフラーCOMP.のサイレンサー部にクランプバンドを取り付けます。



5. ステアリングとサイレンサーバンドをフランジボルト8×20及びフランジナットM8を用いてステアリングを挟む様にして取り付け、仮締めします。



6. ステアリングに取り付けたカラーにフランジボルト6×25を通し、フランジナットM6を用いてマフラーCOMP.のエキゾーストパイプ部を取り付け、仮締めします。



7. エキゾーストパイプナットを規定トルクで締め付けます。
トルク：23 N・m (2.3 kgf・m)
8. 仮付けしたステアリングのフランジボルト10×25を規定トルクで締め付けます。
トルク：29 N・m (2.9 kgf・m)
9. 仮付けしたサイレンサーバンド部のフランジボルト8×20を規定トルクで締め付けます。
トルク：23 N・m (2.3 kgf・m)
10. 仮付けしたフランジボルト6×25を規定トルクで締め付けます。
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)
11. O₂センサーカブラを取り付け、O₂センサーリードワイヤーをクランプに固定します。
センサーリードワイヤーに無理な力が掛からない様取り回しに気を付けて下さい。
12. トランクボックスを取り外しの逆の手順にて取り付けます。
13. サイレンサー部のネームプレート及びJMCAプレートの保護フィルムを剥がします。

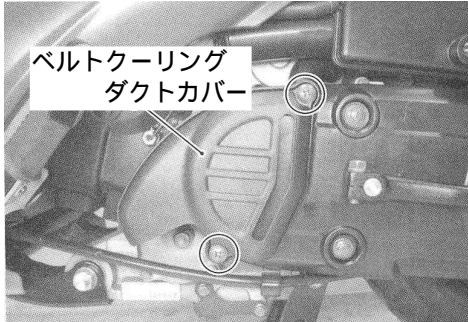


14. マフラーに付着した汚れをよく拭き取ります。
15. エンジンを開始させ、排気漏れの有無を確認します。
⚠警告：必ず換気の良い場所で行うこと。
16. 各部をもう一度規定トルクで増し締めします。
⚠注意：必ず冷間時に行うこと。
⚠注意：必ず規定トルクを守ること。
17. ノーマルエンジンの場合は、別紙手順に従って、ウエイトローラーの交換を行って下さい。
クッションラバーに、熱による硬化が発生した場合は、スペアと交換してご使用下さい。

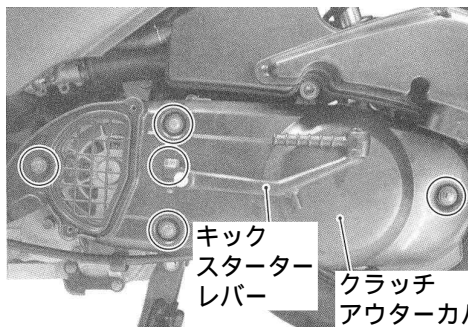
当マフラーをご使用の際、当社が推奨するウェイトローラーは、キット付属品のウェイトローラー15g×6個です。又、車両の使用用途によってマッチングするウェイトローラー重量は異なりますので、各車両に合ったセッティングを行なって下さい。

～ウェイトローラーの交換～

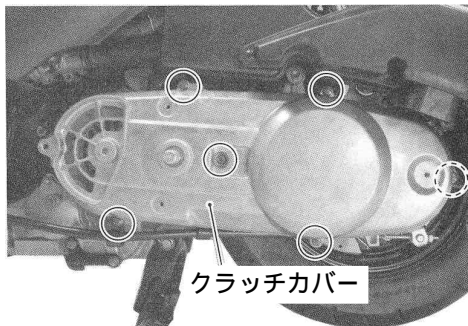
1. タッピングビスを取り外し、ベルトクーリングダクトカバーを取り外します。



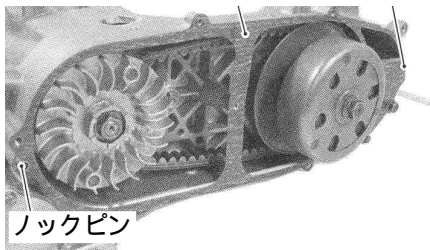
2. キックスターレバーを取り外します。
トルク：13N・m(1.3kgf・m)
クラッチアウターボルトを取り外し、クラッチアウターカバーを取り外します。
トルク：8N・m(0.8kgf・m)



3. クラッチカバーボルトを取り外し、クラッチカバーを取り外します。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)

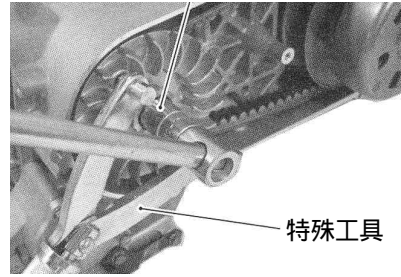


4. ガスケットとノックピンを取り外します。



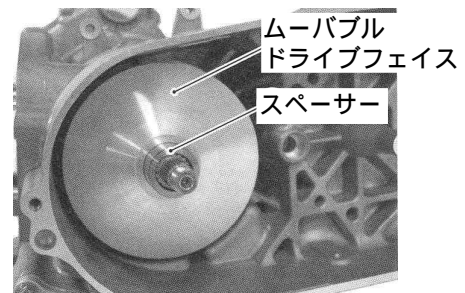
5. 特殊工具を使用してフィクストドライブフェースナットを取り外します。
トルク：50N・m(5.0kgf・m)

フィクストドライブフェースナット

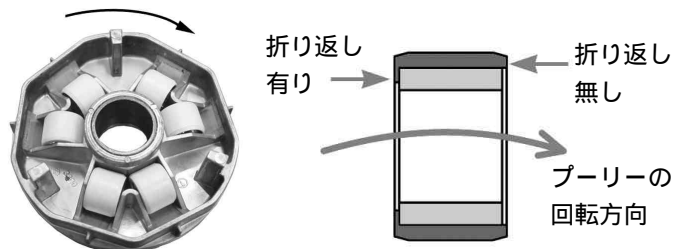


<特殊工具>ユニバーサルホルダー：00 01 1002

6. スペースとムーバブルドライブフェイスを外し、ノーマルウェイトローラーを取り除いて、キット内のウェイトローラー15gと取り替えます。



付属のウェイトローラー6個を取り付けます。ウェイトローラーの向きに注意して取り付けて下さい。ウェイトローラーのアウター(樹脂部分)には、折り返しがある側と、無い側があります。折り返しの有る側が、プーリーの回転方向に対して後ろ側となるように、プーリーに組み込んで下さい。



△注意：逆向きに取り付けた場合、ウェイトローラーが磨耗してくると、ウェイトローラーのインナーとプーリーが接触し、プーリー内のウェイトローラー摺動面に傷を付け、変速不調及びプーリー損傷の原因となる恐れがあります。

ムーバブルドライブフェイスとスペーサーには油脂類が付着しない様に注意して下さい。又、付着した場合は必ず脱脂して下さい。

7. 以上の取り外し作業の逆手順にて、取り付けて下さい。各項目に記載されている規定トルクを守り、確実に作業を行なって下さい。

キットに同梱しているJMC Aカードは適応車種及びこのマフラーの音量測定値を証明するカードです。一般公道を走行する場合、このカードも携帯して頂く事をお勧めします。

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
株式会社 SPECIAL PARTS 武川
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>